

ユーロ圏金融政策（2023年12月）

2会合連続で政策金利据え置き、来年央から保有資産の圧縮加速

2023年12月15日

インフレ警戒姿勢を緩めず、利下げは議論せず

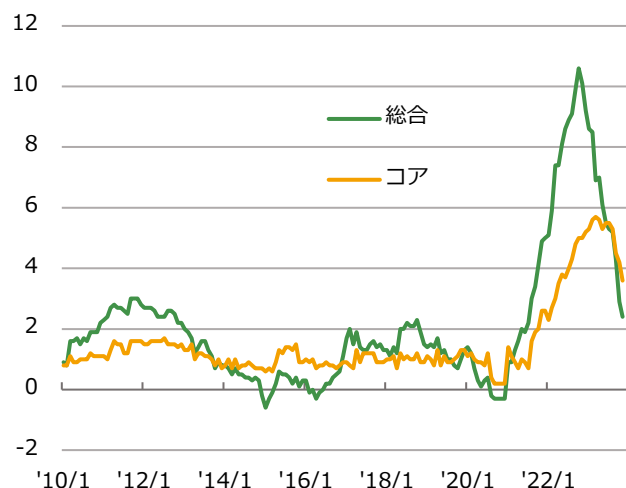
ECB（欧州中央銀行）は12月14日（現地）の理事会で、市場予想通り2会合連続で政策金利の据え置きを決定しました。中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って資金を預け入れる際の金利）は4%、主要リファイナンス（1週間の資金供給オペ）金利は4.5%です。

声明文では、前回までの「インフレは長期間高止まる」から「インフレは徐々に低下する」へと見通しを改めたものの、労働コストの高い伸びを主因にECBはインフレ警戒姿勢を緩めていません。実際、当面の金融政策に関して、「ECBの政策金利は、十分に長い期間維持されれば、インフレ目標の達成に多大な貢献をする水準にある」、「政策金利が十分に抑制的な水準に必要なだけ長くあることを確実にする」との表現はそのままです。ラガルド総裁は、今後の金融政策はデータ次第であるとしつつも、利下げは議論していないとし、利上げから利下げに至るには相当の距離があることを強調しました。前日にFRB（米国連邦準備制度理事会）が金融引き締めからの転換を示唆したことと比較すると、ECBの現状維持の姿勢は相対的にタカ派に映り、理事会後にユーロは対米ドルで大幅に上昇しました。

新型コロナウイルス対応の緊急資産購入プログラムによる保有債券については、償還分の再投資を来年7月から月平均75億ユーロ減額し、来年末で停止する方針を明らかにしました。決定のタイミングは市場の想定より早かったものの、減額ペースが緩やかだったため、市場はこの決定をむしろ好感しました。

ユーロ圏の消費者物価指数

(前年同月比、%) (2010年1月～2023年11月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

(出所) LSEG

ユーロ圏の金利と為替

(%) (2020年初～2023年12月14日) (米ドル/ユーロ)



※中銀預金金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント